

山行報告

山行報告書

京都田辺山友会

報告者 藤村

山 名	スイスのハイキングと北イタリア観光の旅	山行名	例会
ルート	スイスの Zermatt と Interlaken 周辺ハイキング		
山行日	2025 年 8 月 22, 23, 25, 26, 27 日	天 候	晴れ
参加者	CL 藤村 SL 宮内 伊藤 大西 原田 西川 田中深雪		

- ・山行日は全て快晴でアルプスの大自然を満喫して余裕を持ち無事山行できました。
- ・全てルートは、道がよく整備されまた標識も多く安心して歩くことができました。
- ・詳細なルートは、欧州でよく利用される Komoot を使用しましたが、主要な道と枝道の区別が不明瞭で、道が途中で消えていることもあり、その精度 YAMAP よりかなり低いレベルです。

山行状況は以下の通りです。

日		出発地	到着地	予定	実績	難易度
22日		ゴルナグラード展望台	Zermatt駅	5H	6H45M	易
23日		Sunega展望台	Zermatt駅	3H	4H35M	易
25日		Eigergrisehe駅	Airiggen駅	3H		
	変更	KleineScheidegg駅	Alpiggen駅		3H	易
26日		Mannliche駅	KleineScheidegg駅	4H	4H35M	易
27日	中止	Grindewalde駅	駅周辺辺ハイクレ同駅	4H		

- ・市内の観光では、Google Map を使い迷うことなく目的地にたどり着くことができました。
- ・ゴルナグラード展望台、Jungfrau joch 展望台、その他著名な観光地では、日本人が多く、また見知らぬ外人から日本語で話しかけられることもありました。
- ・スイス・イタリア共にトイレがなく、またあっても有料で利便性の悪さに驚きました。
- ・イタリアでは予約していた列車を勝手にキャンセルしたと鉄道会社から 2 週間前にメールだけがあり、当方から代替え列車の便名を確認するまで何の連絡もありませんでした。その代替え列車は予定より 50 分も遅れてミラノに到着したため、check-in 時間に遅れそうになりました。事前に Hotel 側に国鉄の都合で電車が遅延したので、check-in 時間を延ばして欲しいと要望しましたが、冷たく断られ、やむなく地下鉄駅から受付場所まで走りました。フレンチェでは、洗濯機が故障しているので、何とかしてほしいと要望すると金を返すと開き直られました。
- ・今回同行していただいた皆様には、遠いスーパーへの買い出し、説明書が無い調理器具を使用しての夕食・朝食作り、洗濯機故障による手洗い洗濯等不便な思いをさせお詫びします。
- ・インスタグラムに山行風景（原田作成）を載せていますので、ご覧ねがいます。

ヒヤリハット なし

感想文

8月20日（ミラノ観光）藤村



ミラノ大聖堂

最後の晚餐の絵は、宴席の間だけでなくその背景の左上に建物が描かれ、より立体感を演出していた作品であることが、本物を見ることにより分かりました。またフレンチェのドゥオーモの天井には、天国から地獄までの世界が描かれ、日本の絵巻物の地獄草紙とにており、遠い昔に東西が繋がっていたのではと思いました。Jungfrau joch 展望台の入り口に昭和レトロの赤い日本の大型郵便ポストがあり、そして私達を見るなり係員が「こんにちは」と話しかけるなど、親日家が多いことも分かりました。

8月22日（ゴルナグラード展望台から Zermatt までハイキング）
原田

ツェルマット2日目、夜明け前に宿から幻想的なマッターホルンを眺め、今日の山行に期待が高まります。登山列車でゴルナグラート



ゴルナグラード展望台

展望台まで行くと、そこには素晴らしい本場アルプスの景観が広がっていました。マッターホルンをはじめモンテローザ、リスカムなど4000m級の白い名峰が連なり、その間には日本では見られない大氷河もあり、山容の壮大さ、優雅さに息をのむ思いでした。その後ツェルマットまでのハイキングは高低差1500mの下りでなかなか大変でしたが、真っ青な空に映える数々の峰を眺めながらの山歩きは、映画サウンドオブミュージックの「すべての山に登れ」のシーンを彷彿とさせるとても魅力的なものでした。



スネガ展望台

8月23日（Sunega 展望台から Zermatt までハイキング）伊藤

ツェルマット滞在3日目。この涼しさ、澄んだ空気、どこまでも続く山稜と緑地の風景。スイスは水道水も飲めるのです！ケーブル3分でスネガ2288m地点へ。レストランのテラスが絶好のマッターホルン展望台。ゆっくりと眺望を楽しんだ後で、今日は時間も短く快適なハイキング。マッターホルンを道連れにして。ショートカットの道はちょっぴり厳しかったけど、明日マッターホルンに登るという日本人にも会えて。あの山は槍ヶ岳にそっくりだね。日本の高山植物によく似た花が一杯。ところで、この週末はトレラン大会でツェルマットは大賑わい。カモシカのような脚に見とれていたのは誰かな？

8月25日（KleineScheidegg 駅から Alpigen 駅までハイキング）宮内

出発してすぐにアイガー北壁が目の前に迫り、その大きさと迫りに圧倒された。

北壁の下を歩くと自分がとても小さく感じる。道は下りが多く歩きやすいけれど岩のゴツゴツした景色また振り返れば遠くには雪山や牧草地が広がり心が洗われる思い。途中では小さな草花や道沿いには山小屋があり牛が牧草を食べる度にカウベルの音がのんびりと響いていた。写真を撮りすぎてなかなか前に進まなかった一日でした。



アイガー北壁

8月26日（Mannlichen 駅から KleineScheidegg 駅までハイキング）大西

今日はグリンデルワルト駅からゴンドラに乗りメンリッヒュン駅へ僅か数分で2,342mの頂上。360度の眺望が楽しめる展望台へ南にアイガー、メンヒ、ユングフラウの3山が並びグリンデルワルトの谷を眺めながら尾根道のハイキング。どこを撮っても絵はがきの一ページ、言葉では言い表すことができないほどの感動した旅でした。



Mannlichen 展望台



サンマルコ広場

8月28日小雨（ミラノからベニス移動）西川

午前中高速バスにてベニスへ。これがまたよく飛ばす運転手で、前に遅い乗用車があれば、ぴたっとくっついて、煽り運転。道幅に余裕があれば、縫うように走る荒っぽい運転。なかなか楽しく見ておりました。バスターミナルからサンマルコ広場へは、船に乗ってベネチア見物。そこで昼食はイカスミスパゲティ、そしてドゥカーレ宮殿見学ですが、その後の予定していた美術館へは疲れのため中止。貴族の邸宅跡のようなお屋敷の一室で就寝。今日も疲れました。14,613歩

8月30日（フィレンツェ観光）田中(深)

最終滞在先のフィレンツェではフレスコ画のあるルネッサンス芸術と建築で有名なフィレンツェ大聖堂、サンタ・マリア・デル・フィオーレ大聖堂（ドゥオーモ）を463段ある階段で登って行くと、赤い屋根が広がる絵画のような古代から変わらぬ歴史ある風景で心奪われました。

その後フィレンツェを流れるアルノ川に架かる第二次世界大戦の難を免れた「奇跡の橋」、金細工の店や宝石店が並ぶヴェッキオ橋では沢山の観光客で目を離すと皆なんと逸れてしまう程の混雑ぶりでした。その後ミラノに戻る電車が40分も遅れて駅から皆で走り宿の鍵と荷物を受け取るというスリリングな旅最終日となりました。



ヴェッキオ橋